

小中学校の校舎整備に積極取組み

深溝小学校 校舎増築など

一般会計決算額 ()内は前年度比

歳入 139億3,602万円(8.5%増)

歳出 125億9,686万円(4.5%増)

決算の概要

今定例会は、17年度の決算を審議するため特別委員会を設置し、一般会計のほか8つの特別会計などを慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

一般会計の決算内容は、前年度と比較して歳入で10億9,211万円(8.5%)増加、歳出においても、5億4,574万円(4.5%)増加しました。

町民税は、個人分が5.8%増加し、法人分が5.1%減少しましたが、町税全体では、84億9,655万円となり、1億1,831万円(1.4%)の微増となりました。

歳出では、一般廃棄物最終処分場建設、農村振興総合整備、道路新設改良、橋梁・街路整備、土地区画整理や深溝小学校校舎増築をはじめとする小・中学校整備など、各種の事業が計画どおり実施されました。なお、幸田町の17年度の決算歳出総額は、一般会計と特別会計を合わせ

て、202億3,230万円(前年比7.7%増)となりました。

歳出の主なもの

- ・総務費 13億2,958万円 (9.5%増)
- ・民生費 24億5,250万円 (3.1%増)
- ・衛生費 11億7,939万円 (24.3%増)
- ・農林水産業費 8億8,507万円 (0.9%減)
- ・土木費 19億4,383万円 (9.7%増)
- ・消防費 13億7,966万円
- ・教育費 18億9,652万円 (14.1%増)
- ・公債費 12億3,468万円 (31.3%減)

主な質疑

職員の削減計画は

① 5年間で5%の正規職員を削減できるのか。

住民サービス低下の懸念はないか。
 ② 現在、正規職員は、322人であるが、16人程度の削減に向けて協力体制を整えたい。
 柔軟に対応できる組織づくりに努め、民間委託なども検討する。

消防費の大幅増は

③ 消防費が前年比40.4%の大幅増となっているのは、
 ④ 救急出動回数的大幅増



完成間近の一般廃棄物最終処分場

平成17年度

安定税収に支えられ 全ての事業は計画どおり

決算総額 202 億円

(一般会計及び特別・企業会計の歳出決算額の合計)



増築された深溝小学校校舎

加もあるが消防署用地の特別会計からの買戻しが主なものである。

上六栗保育園の活用は

① 上六栗保育園を木造建築に建て替えて、子育て支援センターの拡充はできないか。
② 現在、遊戯室は改修と耐震工事を完了し、子育て支援センターの行事などに利用している。

幸田町の
財政力は

財政力指数とは、財政力の強弱を示す指標の1つで、この指数が1以上の団体は財政力が豊かであるといわれている。

① 17年度の財政力指数*はどうなったか。
② 1・59で0・15ポイントの上昇を示した。(県下の市町村で第5位)

建設事業の
主なもの

(1) 弓道場建設事業
・5453万円
弓道場新設に要した建設工事費・外構工事費などです。
(2) 深溝小学校校舎増築事業
・1億8238万円
深溝小学校の校舎増築

(3) 一般廃棄物最終処分場建設事業
・3億3253万円
17年度工事費が主なものです。

(4) 農村振興総合整備事業
・2億1874万円
農道・水路工事費や実設計費・用地費などです。
(5) 相見・野場土地区画整理組合補助事業

(6) 両地区の土地区画整理組合への補助金です。
・2億1000万円
道路橋梁・街路整備事業
・1億9247万円
橋梁の耐震補強などに要した費用です。

特別会計などの決算状況

会計名		歳入	歳出	差引	
特別会計	土地取得	10億2,234万円	10億1,228万円	1,006万円	
	国民健康保険	23億8,317万円	22億9,682万円	8,635万円	
	老人保健	19億9,667万円	19億8,985万円	682万円	
	介護保険	9億9,527万円	9億6,214万円	3,313万円	
	通所介護サービス	1,033万円	1,033万円	0	
	農業集落排水事業	3億7,587万円	3億6,663万円	924万円	
企業会計	水道事業会計	収益的収支	6億3,926万円	5億7,457万円	6,469万円
		資本的収支	1億7,354万円	2億4,762万円	* 7,408万円
	下水道事業	10億537万円	9億9,738万円	799万円	

* 不足する額は損益勘定留保資金などで補填した。
* 企業会計のみ税抜き